



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

| 日付        | 資金需給予想  |         |         | 主な要因                         | オペ期日                                   | オペスタート | イベント                                                                                        |
|-----------|---------|---------|---------|------------------------------|----------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | 銀行券要因   | 財政等要因   | 資金過不足   |                              |                                        |        |                                                                                             |
| 11/17 (月) | ▲ 100   | + 500   | + 400   | 国債発行償還（個人）<br>国庫短期証券発行償還（3M） | CP等買入 ▲100<br>被災地支援 ▲100<br>国債補完供給 600 |        | 日：GDP（7～9月期速報）<br>：鉱工業生産（9月）                                                                |
| 11/18 (火) | トン      | ▲ 3,000 | ▲ 3,000 | 国債発行（物連10年）                  |                                        |        | 米：鉱工業生産（10月）                                                                                |
| 11/19 (水) | トン      | + 1,000 | + 1,000 |                              |                                        |        | 日：貿易収支（10月）<br>米：FOMC議事要旨（10月28・29日開催分）<br>欧：ユーロ圏CPI（10月）                                   |
| 11/20 (木) | トン      | ▲ 8,000 | ▲ 8,000 | 国債発行（20年）<br>国庫短期証券発行償還（1Y）  |                                        |        | 日：日銀の小枝審議委員が新潟県金融経済懇談会で講演<br>米：新規失業保険申請件数（11月15日終了週）<br>：景気先行指数（10月）<br>欧：ユーロ圏消費者信頼感指数（11月） |
| 11/21 (金) | ▲ 2,000 | + 1,000 | ▲ 1,000 |                              |                                        |        | 日：全国CPI（10月）<br>欧：ラガルドECB総裁が欧州銀行会議で基調講演<br>：ユーロ圏製造業・サービス業・総合PMI（11月）                        |

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比6,700億円減少し、492兆8,500億円から始まった。その後、国債発行や国債買入オペ、源泉所得税揚げ等の要因により増減し、14日は490兆3,600億円（速報）で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、一部金融機関で試し取りが行われたことから0.481%から始まりその後は試し取り要因が剥落したことから低下し、0.478%で越週した。

ターム物は1W～3W物0.470%～0.650%のレンジ、1M～3M物0.550%～0.650%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では17日にGDP（7～9月期速報）、21日に全国CPI（10月）の公表、20日に日銀の小枝審議委員が新潟県金融経済懇談会で講演、海外では19日にFOMC議事要旨（10月28・29日開催分）、ユーロ圏CPI（10月）の公表などがあ

[無担保コールレート]

|     | 予想レンジ (%)     |
|-----|---------------|
| O/N | 0.450 ～ 0.478 |
| 1M  | 0.52 ～ 0.62   |
| 2M  | 0.58 ～ 0.65   |
| 3M  | 0.61 ～ 0.70   |
| 6M  | 0.75 ～ 0.90   |

<レボ>

足許GCは週を通して+0.495%～+0.50%の狭いレンジで取引された。買い入れオペのあった12日や、短国の発行があった14日の取引も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年470～477回債、5年155～181回債、10年356～371、378～380回債、20年110～130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

|               | 予想レンジ (%)   |
|---------------|-------------|
| 現先<br>(on/1w) | 0.40%台      |
| CP 3M         | 0.60 ～ 0.75 |

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆8,463億円で、週間償還額の8,445億円を上回った。発行残高は、先週末時点の23兆3,770億円から、11月13日時点で23兆3,276億円へと減少した。発行市場では、電気業・不動産業・小売業をはじめとする幅広い業種で大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、a-1格相当の1か月物で0.50%台前半、3か月物で0.70%台を中心に、幅広い水準での取引が確認された。

来週の償還額は、約1兆2,600億円となっている。発行市場は、5・10日に絡めた発行案件により、相応の発行が見込まれる。発行レートは、1M物では0.50%近辺での出合いが見込まれる一方で、12月の金融政策決定会合を超える案件では、日銀の政策修正への警戒感から引き続きレート水準を探る展開が見込まれるであろう。

<TDB>

14日の3M（1344回債）の入札は、最高落札利回り0.4632%（前回債0.4773%）、平均落札利回り0.4529%（前回債0.4713%）となった。

来週の入札は19日に1Y、21日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。